

主要行等向けの総合的な監督指針 新旧対照表

改正後	現行
<p>Ⅲ 主要行等の監督上の評価項目</p> <p>Ⅲ－２ 財務の健全性等</p> <p>Ⅲ－２－１ 自己資本の充実</p> <p>Ⅲ－２－１－２ 自己資本比率及びレバレッジ比率の正確性</p> <p>Ⅲ－２－１－２－２ 留意事項</p> <p>(1)～(2-2) (略)</p> <p>(3) リスクアセットの計算方法</p> <p>①～④ (略)</p> <p>⑤ <u>不良債権証券化エクスポージャーに係る資本賦課について、規制裁定行為に当たる取扱いが行われていないか。</u> <u>特に告示第267条の4第2項又は持株自己資本比率告示第245条の4第2項について、これらの規定に掲げる要件の全てに該当する場合であっても、不良債権以外の債権に対するリスクアセットの削減を目的とする場合には、これらの規定に定めるリスク・ウェイトの適用を認めない。</u></p> <p>(4)・(5) (略)</p>	<p>Ⅲ 主要行等の監督上の評価項目</p> <p>Ⅲ－２ 財務の健全性等</p> <p>Ⅲ－２－１ 自己資本の充実</p> <p>Ⅲ－２－１－２ 自己資本比率及びレバレッジ比率の正確性</p> <p>Ⅲ－２－１－２－２ 留意事項</p> <p>(1)～(2-2) (略)</p> <p>(3) リスクアセットの計算方法</p> <p>①～④ (略)</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>(4)・(5) (略)</p>